



シニアのひろば



認知症初期集中支援チームを ご利用ください

高齢者の約4人に1人が認知症やその予備群であるといわれています。

高齢福祉課では、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域でよい暮らしを続けることができ、今年度から「認知症初期集中支援チーム」を配置しました。

認知症の初期のうちに支援を受けることで、生活が安定し、症状の進行が抑えられるなど、一定の効果が期待できます。

【支援対象】

- 市内在住の40歳以上の在宅生活者のうち、物忘れなどで不安に思われている方で次のいずれかに該当する方
- 医療、介護サービスを受けていない方



- 医療、介護サービスを中断している方
- サービスは受けているが、対応に苦慮している方 など

【支援方法】

家族との面談、家庭訪問による支援、必要時には、専門職を集めて支援の方向性を話し合い、初期（おおむね6カ月間）の集中的なサポートを行います。

【主な支援内容】

- 適切な専門医受診に向けた助言
- 適切な介護サービスの利用のすすめ
- 本人の身体状況を整えるための相談支援

- 生活環境の改善に向けた助言
- かかりつけ医との連携支援

【主な専門職】

専門の研修を受講した医師や高齢者支援センターの支援推進員、ケアマネジャーなどが、必要に応じて連携し、本人や家族の自立に向けた生活のための相談支援にあたります。

▼高齢福祉課地域ケア係

☎ 27・7980 FAX 23・3545

私たちが
認知症初期集中支援チーム
です。



認知症は早期診断・早期対応が大切です。「認知症の始まりかな」と思うことがあれば、一度ご相談ください。